

編集後記

- 暖かいお正月でした。1月も平均気温が例年より高く過ごし易かったのですが流石に2月に入ると結構寒くなりました。それでも春は着実にやって来ましたし本誌をお届けする頃は採集の好機になっていると思います。御活躍をお祈りします。
- 最近県下の同好会の活動はやや下火の様に思いますがどんなものでしょうか。

「昆虫の観察と云う言葉の裏には非採集というニオイが付きまとうのを拭いきれない。いま、あなたが見ている虫が何と云う虫であるかというごくベーシックな問題は甲虫類について言えば観察だけでは残念ながら現段階では解決されない」と述べられた露木繁雄氏の言葉(カミキリムシの魅力、1987)は全く当を得ています。「昆虫採集は趣味の王様」と久し振りに痛快な言葉に接しました。

若い人達の昆虫愛好者が大変少ないように思います。塾とファミコンに追いかけている様では淋しいです。どうも社会も教育も次第に殺伐としてきつつあるように思います。
- 本誌の原稿難あたりも深刻になりつつあります。次号は11月に御手許にとどけられるように頑張ります。

(T)